

ottobock.



オットーボック製品 ご利用のてびき

品番 476C00=SK

製品名：クッション
テラ フレア

2020年8月版

はじめにお読みください

製品をご使用の前に、このご利用のてびきを良くお読みになり、内容を充分にご理解をお願い致します。介助される方はご利用者が正しく、安全に使用していただくために使用方法をご説明ください。また、お読みになった後、手元に保管し、身体状況に変化があった場合、使用に関して不明な点がでた場合などは、必要に応じて繰り返しお読みください。

本書に従って使用いただけない場合、利用者がケガをしたり、製品が破損する恐れがあります。

*本製品は、本書の説明の内容ならびに、使用目的に従って使用された場合にのみ、保証の対象となります。

本書は弊社のホームページからもPDFの形式でダウンロードできます。本書の内容に関してのご質問は、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

目次

1章	機能	2頁
	1.1 機能	
2章	適応	3頁
3章	安全にお使いいただくために	4頁
	3.1 記号の意味	
	3.2 総合的な安全に関する注意事項	
	3.3 ご利用者、介護者の方への注意事項	
4章	納品	6頁
5章	使用準備	7頁
	5.1 車いすへの設置方法	
	5.2 クッションの調整方法	
6章	使用	9頁
	6.1 車いすへの設置方法	
	6.2 カバーの取付け、取外し	
	6.3 清掃	
7章	メンテナンス	12頁
8章	法的事項について	13頁
9章	テクニカルデータ	13頁

1章 機能

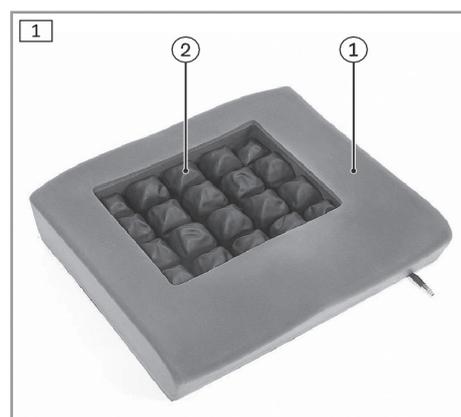
1.1 機能

車いす用クッション「テラフレア」のレストサスペンションフォーム部（写真1-①）は利用者に合わせて柔軟に変形し、クッション効果を高めます。さらにフォーム部は広い範囲で圧を分散させるので、除圧と共に安定した姿勢を保つサポートをします。

フォーム部の後方にはエアセルが組み込まれていて、坐骨結節部、臀部、大腿部を適格にサポートします。

（写真1-②）

クッションカバーは防水性、伸縮性を併せ持った Dartex 社のファブリックを使用しています。



レストサスペンションフォーム部（写真3）

フォーム部前方は大腿部にフィットした形状になっており、下肢のポジションが安定します。



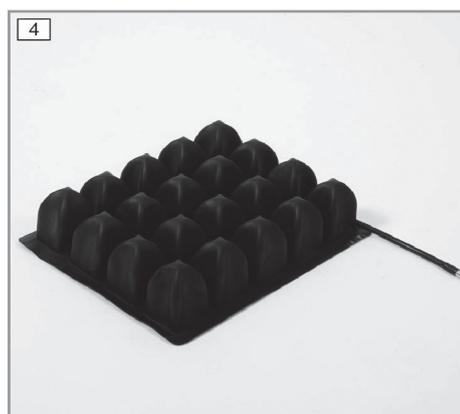
エアセル部（写真4）

坐骨結節部、臀部、大腿部を包み込むように、広く均等に圧を分散させます。

Dartex 社製防水カバー（写真5）

また、伸縮性がありフィット感にも優れています。防水加工が施されていますので、尿失禁者用にも適した素材です。

*エアセルはせんだん力を和らげながら体重を分散することができます。



2章 適応

2.1 使用の際の注意

テラフレアは成人利用者の車いす用クッションとしてのみ使用してください。クッションを使用することで快適かつ、安定した姿勢をサポートすると同時に適切に圧を分散させます。利用者が使用している車いすのサイズに合わせてクッションのサイズを選び、車いすを使用する時用のクッションとしてのみ使用してください。テラフレアは特に軽度から中程度の姿勢保持と対マヒ、片マヒ、神経学的欠損、リウマチ、筋疾患の患者や高齢の利用者の褥瘡を予防するクッションとして考えられています。

シーティングの知識をもった医療従事者によるリスク評価と、治療のプログラムに併せて使用することを目的に適切なクッションを選んでください。

2.2 適応範囲

テラフレアの耐荷重は150Kgです。耐荷重を超えて使用された場合は賠償義務を負いません。

2.3 禁忌事項

利用者が褥瘡や褥瘡性潰瘍を患っている場合、または過去に患った場合はクッションを選ぶ前に医療従事者（医師やセラピスト）のアドバイスを受けてください。

2.3.1 絶対的禁忌

特になし。

2.3.2 相対禁忌

使用中に皮膚の赤みやその他の問題が発生した場合は、直ぐに医療従事者（医師やセラピスト）に相談してください。

2.4 その他の使用制限

製品は一人の利用者が使用するよう設計されています。製品を複数の利用者で使用するのは衛生上の問題により認められていません。

2.5 必要条件

この製品は資格のある担当者が選び、調整してください。

3章 安全にお使いいただくために

3.1 記号の意味



注意

注意

取扱いを誤ると、「人が傷害を負う恐れ、または物的損害の発生が予測される」内容です。

3.2 総合的な安全に関する注意事項



注意

- **クッションを車いすに載せると車いすの重心が変わることがあります。車いすから投げだされたり、転落や転倒など重大な事故につながる恐れがあります。**
 - ・車いすにクッション等の座位保持装置を取り付けた後は、利用者の座位や車いすの重心が使用するのに適しているか、利用者の能力に合っているかを常に確認してください。利用者が的確な座位が取れているかを確認してください。
 - 必要ならば、安定性が保たれるように座位や車軸を調整するか、転倒防止装置の装着を検討してください。
- **長期間使用する前にクッションを試さずにクッションを使用すると、皮膚の赤みの発生や褥瘡がおこる恐れがあります。**
 - ・どのような種類のクッションでも長期間使用する前には、医療従事者のもと利用者はクッションを数時間試し、皮膚に赤みや損傷が出ていないかを確認してください。
- **附属のエアポンプ以外を使用した場合は、製品が破損する恐れがあります。**
 - ・エアセルに空気を入れる時は必ず付属のエアポンプを使用してください。

3.3 ご利用者、介護者の方への注意事項



注意

- **長期間使用していると皮膚が赤くなる恐れがあります。**
 - ・医療従事者、技術者がクッションを調整してから、使用してください。
 - ・定期的に皮膚が赤くなっていないかを確認してください。皮膚が赤くなることは組織が損傷している臨床指標になります。
 - ・使用中に皮膚の赤みやその他の問題が発生した場合は、直ちにクッションの使用を止めてください。医療従事者やセラピストに相談し、指示を得てから再びクッションを使用してください。
- **ご利用のてびきを順守せずに、皮膚の手入れを適切に行わないと褥瘡に起こる恐れがあります。**
 - ・車いす用クッションは車いすでの使用を前提として、臀部への圧を軽減するように開発されています。クッションを車いすと一緒に使用しなかった場合、的確に圧を分散させることができず、褥瘡を引き起こすことがあります。
 - ・車いす用クッションを使用する場合は、常に適切な皮膚のお手入れに注意を払ってください。特に健康に良い食事、身体を清潔に保つこと、定期的に使用を止めることを心掛けてください。
- **火の取り扱いに注意してください。シートクッション、パッド類、背もたれのカバーへ引火し、火傷をする恐れがあります。**
 - ・シートクッション、パッド類、背もたれのカバーは難燃性の素材を使用していますが、引火することがあります。火の近くでは細心の注意を払ってください。
 - ・あらゆる火の元、特にタバコの火には気をつけてください。



注意

● **クッションを注意して取り扱わないと、クッションが破損する恐れがあります。**

- ・クッションに鋭利なものを近づけないでください。猫の爪などペットにも注意を払ってください。
- ・クッションに熱源や火を近づけないでください。
- ・クッションは飲み物をこぼしたり、失禁でぬれる可能性がありますので、常に防水用のカバーをしてください。
- ・オットーボックが提供する純正の防水カバーを必ず使用してください。このカバーは最大限の圧分散を可能にします。スペアカバーが必要な場合はお買い上げいただいた販売店に連絡をしてください。

4章 納品

4.1 納品

製品は下記の製品が組み込まれた状態でお手元に届きます。

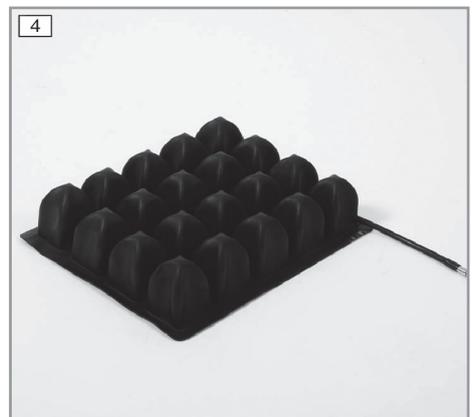
製品構成

車いす用シートクッション

- レストサスペンション フォームベース部 (写真 3)
- エアセル (写真 4)
- Dartex 社製防水カバー (写真 5)

附属品

- エアーポンプ (写真 6)
- リペアキット (写真 7)
- ご利用のてびき (ご利用者向け) : 本書



5章 使用準備

情報

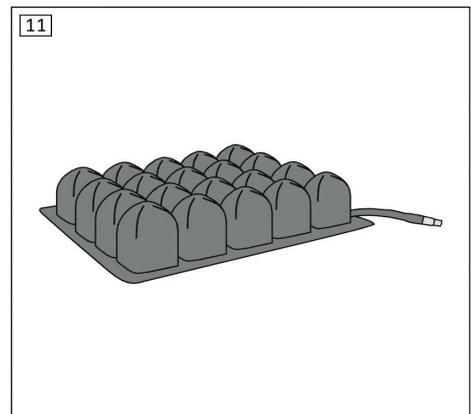
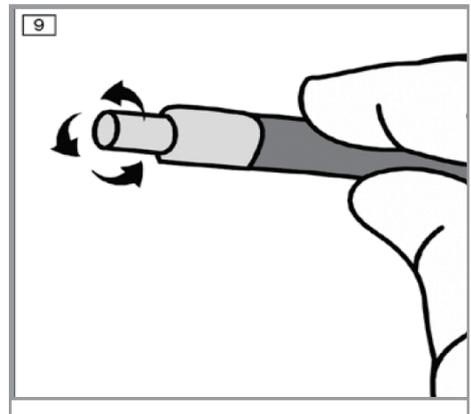
- ・使用準備の項で説明されている使用法は利用者だけでなく、介助者の方も良くご理解ください。
- ・クッションが納品される際にお買い上げいただいた販売店から使用法の説明を必ず受けてください。

5.1 車いすへの設置方法

- 1) 'REAR' と記載されているラベルが車いすの背もたれ側になるようにクッションを置きます。(写真 5)
- 2) 平らな面が下側にきて、起伏がある面が上になるように置きます。
- 3) クッションに縫い付けられているベルクロ部分を車いすの座面部分に取付けられているベルクロ部分と合わせて、クッションをしっかりと固定します。

5.2 クッションの調整方法

- 1) 車いすの座面にクッションを置きます。座面の中心に上下正しく設置してください。クッションから出ているチューブがユーザーの左側前方にくるように設置してください。
- 2) チューブの先のバルブを時計と反対周りに回して、開けます。(写真 9)
- 3) バルブをエアーポンプのホースとつなげます。(写真 10)
- 4) クッションが少しアーチ状になる位空気を入れます。(写真 11)



5) バルブを時計回りに回して締めてから、エアポンプのホースを取り外します。(写真 12)

6) 注意してご利用者を座らせてください。この時クッションが利用者の中心にくるように確認してください。

情報	・ご利用者が快適な姿勢で座っていることを確認してください。
----	-------------------------------

7) クッションの表面と利用者の臀部の間に手のひらを下にして差し入れてください。(写真 13)

情報	・この時、坐骨結節を感じなければなりません。
----	------------------------

8) 手のひらをご利用者の坐骨結節の下に入れたまま、バルブを反時計回りにゆっくり回して空気を抜きます。(写真 9)

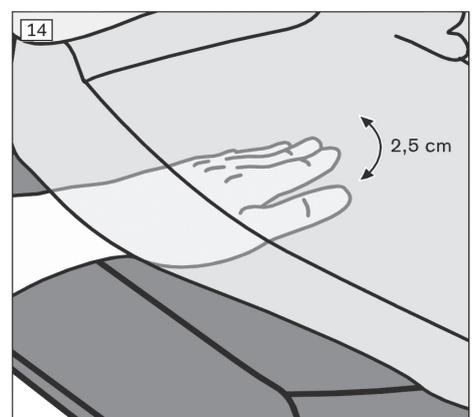
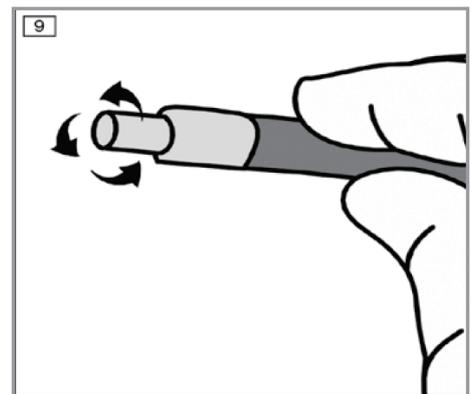
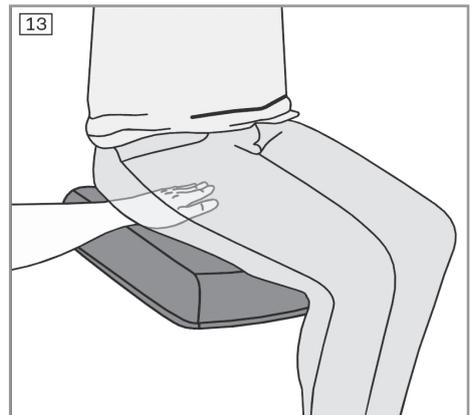
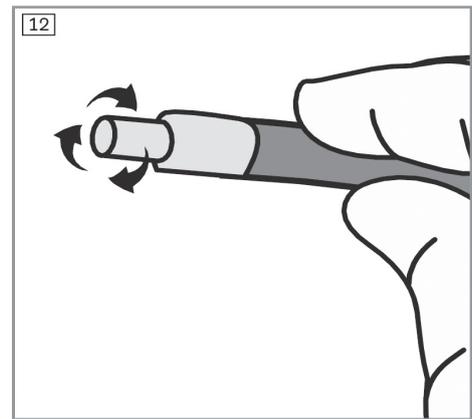
9) クッションの上にある指の先と臀部の間が 2 - 2.5cm 位になり、指が上下に動くまで空気を抜きます。
(写真 14)

10) バルブを時計回りに回して締めます。(写真 12)

11) 指先を動かして的確な隙間があるかを確認してください。利用者とエアセルの底面(車いすのシート)との間が 2cm 以下の場合は、空気を再度入れてから同じ工程を繰り返してください。

情報	・エアで圧を分散させるクッションを使用する場合は毎日手での的確な隙間があるかを確認してください。チェックした際にエアの量が変わっていた場合は、必ず再度調整をしてください。パンクしている場合は修理をしてください。
----	---

12) バルブをカバーの中にしまい、ジッパーを閉めます。



6章 使用

6.1 車いすへの設置方法

クッションを使用している場合、クッションが車いすに正しく設置されているかを使用の前に確認してください。

- ・ ‘REAR’ と記載されているラベルが車いすの背もたれ側になるようにクッションを置きます。(写真 5)
- ・ クッションに縫い付けられているベルクロ部分と車いすの座面部分に取付けられているベルクロ部分を合わせて、クッションをしっかりと固定します。

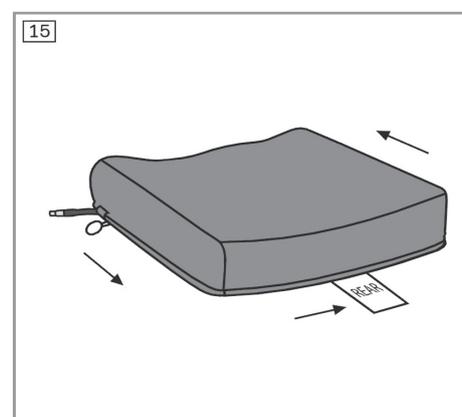


6.2 カバーの取付け、取外し

カバーの取外し

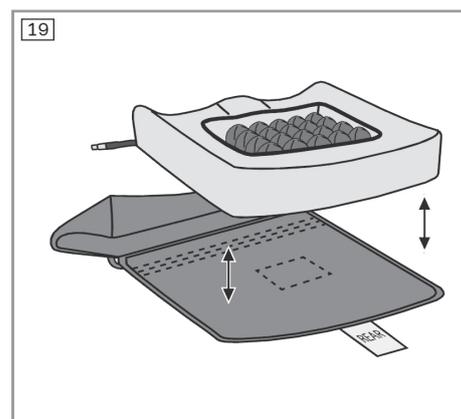
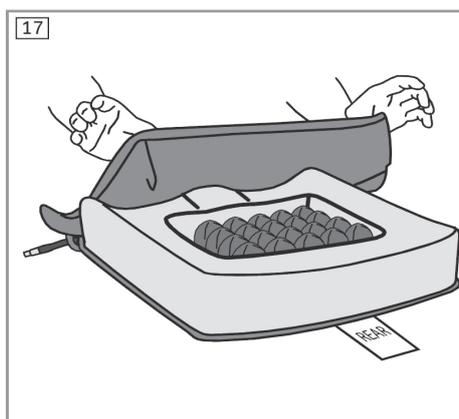
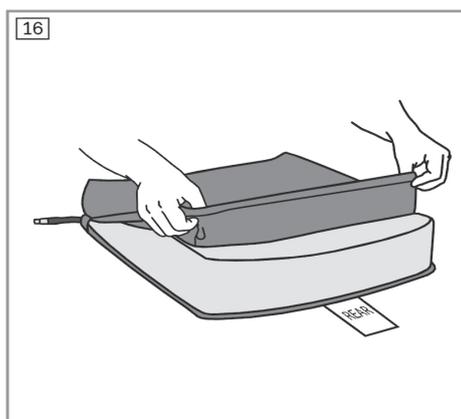
クッションを清掃する際には、カバーを取り外すことができます。

- 1) カバーの周りのジッパーを開けます。(写真 15)
- 2) カバーをめくりあげます。(写真 16、17)
- 3) エアセルのチューブをカバーから抜きます。
- 4) フォームベース部をエアセルと共に注意しながら取り外します。(写真 19)



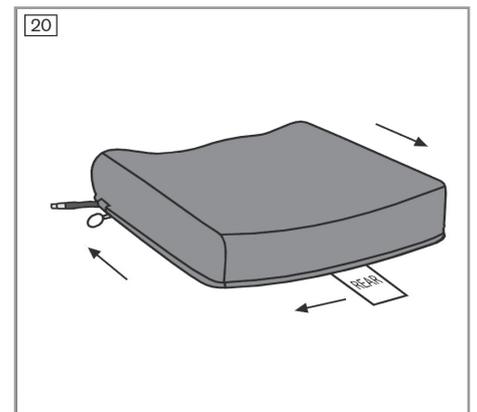
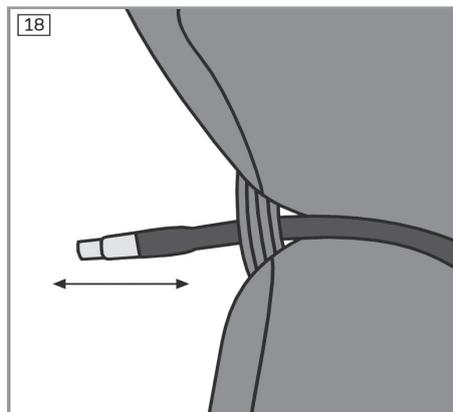
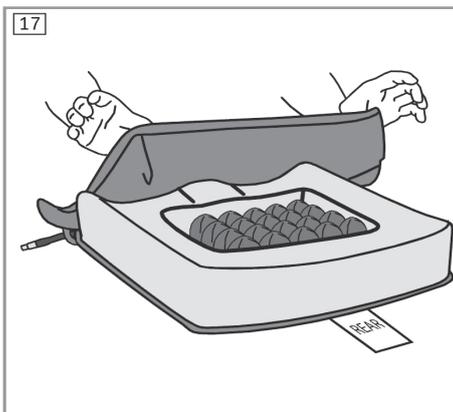
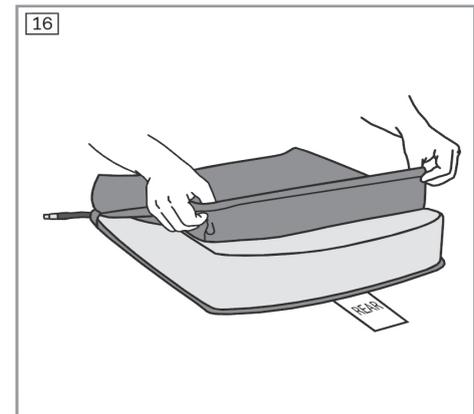
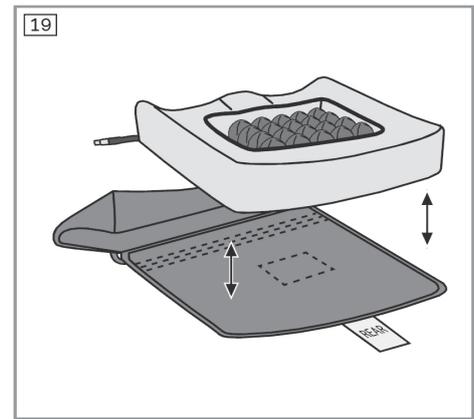
情報

・ 洗濯については清掃の項目をご参照ください。



カバーの取付け

- 1) エアセルがフォーム部に正しく取付けられているかを確認してください。
- 2) カバーのジッパーを3方向全て開けます。
- 3) カバーをまくり上げて、クッションをカバーの上に置きます。後方部分と両脇をカバーに合わせてください。(写真 19)
- 4) エアセルから出ているチューブをカバーから出しておきます。(写真 18)
- 5) カバーをクッションの上にかぶせます。(写真 16、17)
- 6) ジッパーを締めます。(写真 20)
- 7) カバーの表面に大きなシワ等がなく、しっかり掛かっていることを確認してください。



6.3 清掃

 注意	<p>● 車いす用クッションを適切に清掃しなかった場合の損傷のおそれ</p> <ul style="list-style-type: none">・推奨温度以上の高温でカバーを洗濯しないでください。カバーが縮む恐れがあります。圧分散の機能を損なったり、生地を傷める恐れがあります。・漂白剤を使用しないでください。・フォーム部に風をあて乾燥させたり、乾燥機の中に入れてください。
---	---

情報	<ul style="list-style-type: none">・カバーの摩耗、損傷がひどくなった場合はカバーを交換してください。・カバーを消毒する必要がある場合は一般的な除菌効果のある洗剤を加えてください。・失禁がひどい場合は、失禁用カバーを追加してください。カバーはそれぞれの取扱説明書に従って洗濯をしてください。
-----------	---

カバーの洗濯

- 1) ジッパーを開けてクッション本体からカバーを取り外してください。
- 2) カバーのジッパーを閉じてから洗濯してください。
- 3) カバーは中性洗剤を使用して 60℃以下のお湯で洗ってください。

推奨：カバーの傷みを防ぐためにも、洗濯機を使用する場合は 40℃以下のお湯を使用し、デリケートコースで洗濯してください。

- 4) ドライヤーを使用する際には低温のデリケートコースを選んでください。

7章 メンテナンス

情報

- ・エアセルが鋭利な物でパンクをしてしまった場合は、直ちに使用を止めてください。
- ・自分で修理ができない場合は、医療従事者またはお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

エアセルの取外し方

- 1) 6.2 カバーの取付け、取外しの項を参照してジッパーを開けてカバーを外します。
- 2) バルブ部分をフォーム部から抜き、エアセルを丁寧に取外します。この時にエアセルを掴んで引っ張らないでください。

穴のふさぎ方

- 1) パンクしている箇所を見つけます。

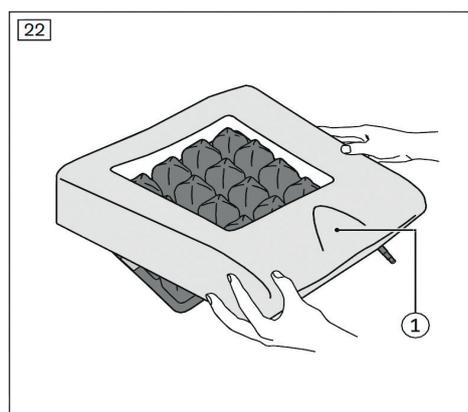
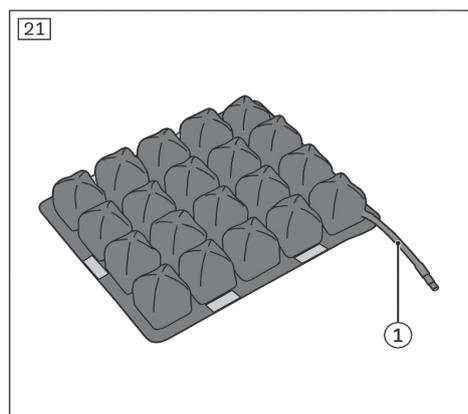
情報： パンク箇所が見つからない場合は、エアセルを膨らませ、バルブを閉じ、水につけます。泡が出て空気がもれている所がパンクしている箇所です。

- 2) 付属のリペアキット（写真 7）の指示に従いパンク箇所を修理します。
- 3) エアセルに再び空気を入れます。
- 4) エアセルを再び水につけて、パンクした箇所から空気が漏れていないかを確認します。



エアセルの取り付け方

- 1) エアセルを十分に乾かします。
- 2) エアセルをテーブルに置きます。この時チューブが前方にくるように置いてください。（写真 21-1）
- 3) フォーム部をエアセルの上にかぶせます。フォーム部の中央が凸になっている部分が前方にくるようにしてください。（写真 22-1）
- 4) フォーム部裏側にあるベルクロ部分とエアセルのベルクロ部分を併せて、エアセルがずれないように固定します。
- 5) カバーを掛けます。（6.2 カバーの取付け、取外しの項を参照してください。）
- 6) 車いすにクッションを再び取付けてください。（6.1 車いすへの設置方法の項を参照してください。）



8章 法的事項について

全ての法的事項は製品が販売使用される国の法律に従い変更されます。

保証対象：

本書にしたがって正しく使用された場合にのみ、保証の対象となります。製品の保証内容は、保証書に記載されています。

製品の安全性：

この製品はEUの93/42/EEC規格の要綱を満たしています。また、それに伴い、自社および検査機関における安全性に関する適合試験を行い、すべての検査要綱の条件を満たしていることを宣言します。

損害賠償責務：

製造元は、製品が定められた条件のもと、定められた目的に使用された場合にのみ責任をとります。製造元は、製品が適切に、説明書にそって使用され、点検されることをお勧めします。製造元が、許可していないパーツや付属部品が原因の損害については、製造元は損害賠償責任を負いません。修理は、公認された販売店か製造元自身により行ってください。

9章 テクニカルデータ

クッション全体	
前座部厚さ	6.5cm
重量 (40.5cm X 40.5cm)	約 1.5kg
耐荷重	150 kg

フォームベース	
素材	ポリウレタン フォーム

カバー	
素材 Dartex 社製防水カバー	40°C～60°Cのお湯で洗濯可能

ROHO エアセル	
素材	ネオプレンゴム

サービスについて

ottoボック製品のサービスや修理は、販売店に依頼してください。適合などに不具合等がある際にも販売店にお問合わせください。

取扱販売店



掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

ottoボック・ジャパン株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 野村不動産芝大門ビル4F

TEL. 03-6403-1061(代表) FAX. 03-6435-8082

www.ottobock.com/ja-jp/mobility